

令和5年度8月 定例教育委員会会議録

令和5年8月22日（火）

山梨市教育委員会

令和5年度8月 定例教育委員会 議事録

令和5年8月22日（火）午後1時15分から、山梨市役所委員会室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の承認
- 4 協議事項
 - (1) 全国学力・学習状況調査の結果について
 - (2) その他
- 5 承認事項
- 6 報告事項
- 7 連絡事項
- 8 閉会

○出席者

教育長	嶋崎 修
教育長職務代理者	矢野 眞由美
教育委員	窪田 新治
教育委員	天野 有紀
教育委員	原 喜雄
教育委員	鈴木 徹

○事務局職員出席者

学校教育課 課長		磯村 賢一
学校教育担当	リーダー	土橋 朋弘
学校教育担当	指導監	小串 吾郎
学校教育担当	指導主事	志村 貴美子
学校総務担当	リーダー	大島 芽久美
学校総務担当	(議事録作成者)	小田切 咲紀
生涯学習課 課長		角田 弘樹
生涯学習担当	リーダー	日原 勝巳

4 協議事項の内容

教育長

議事に入る。(1) 全国学力・学習状況調査の結果について、事務局から説明をお願いする。

学校教育課 指導主事 資料1に基づき説明

教育長

ただ平均点を比べたり、どれが良かった悪かっただけではなく、改善するということが基本になっているので、今月末に開催される校長会で、各結果の原因がどこにあるのかについて分析を持ってくるようお願いしている。

文科省でも、全国平均とプラスマイナス5ポイントまでは許容範囲というか容認の範囲だと言っているが、これ見てわかるように、全国との差がかなり広がっているので危機感を持って対応しているところだ。

また、本来小規模校として細かな指導を行っていたり、複式学級を解消して先生を雇っているところが低くなっているので、この辺もきちんと検証していかないと、大きい学校のほうがいいということで、学校の統廃合にも加速が進んでしまうのではないかと懸念している。これに関しては一番最後の新聞記事で、北杜市で委員をなさっていた早稲田大学の細川先生が、競い合うよりも、子供たちが寄り添い、集団の中で励まし合いながらやっているような学習が望ましいということを行っているので、本市としては、安易な統廃合や大きい学校に一元化するというようなことは今のところ考えていないが、これもきちんとした根拠やエビデンスを示す必要があると思っているところだ。

何かご意見があればお願いします。原委員いかがか。

原委員

一番気にする所は、当然こういう情報は保護者が一番気にするので、このことをどう保護者に伝えていくのかということだ。さっきの改善点も含めて、そこの所も教えていただけたらと思う。

指導主事

各保護者には三者懇談等の折にお子さんと一緒に担任からお話ししていただ

るようにお願いする予定だ。市の方で示す資料は、市と県と全国の平均のみで、従来であれば、各学校で自分の学校の成績を加えて保護者の方に説明をする。あとは個票を持って各個人の指導を進めていくという形になってくると思う。

教育長

例えば英語で言うと、英語が低かった学校の英語の先生がこの春代わった場合、学力の内容は昨年の学年の内容になっているので、直接的に今の先生が教えたわけではないということも確かにある。そうすると、だんだん責任が転嫁されていって、じゃあこの子たちの学力はどこで補習するのかということが一つ問題になってくると思うので、そういったことも二学期以降に補習なり、あるいは改善の方法を少し考える必要があるという気がしているところだ。

天野委員、保護者としてどうか。

天野委員

我が子の成績はどの保護者も気になると思うが、その低かった時に、中学校に娘がいてすごく思ったのが個別のフォローみたいなものを受けているということが感じにくい。娘も授業の中では見てもらえるものの、それ以外の時間にすごく苦手な英語をどうしていったらいいのかと悩んでるが相談するのも躊躇している。で、受けにくいみたいなどころがある。このテストの結果が返ってきた時に、子どもたちがどう捉えて、学校からどういうフォローがあるのかというのが気になるところだ。面談の時に聞ければいいが、聞けない保護者の方もいるのかな、なんていうところも気になる。

鈴木委員

国語だが、過去のデータが分からないが、これまでは全国や県との差は上回ったこともあったか。

指導主事

ここ四年ぐらい小学校は同じような状況が続いている。ただ、昨日、学力向上フォーラムという学力調査の結果を県で共有し改善点の話があった会議に参加したが、その差は県としてはだんだん縮んでるという話で、改善傾向にあるということだ。

取り組みとしては課題となっているのは、書くということだ。これに関しては、特

に今回の棒図やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き現わし方を工夫するというのは思考・判断・表現に関する問題であり、そのあたりが毎回課題になっている。先生方も本当に地道に色々取り組まれているが、一日二日でグッと上がるようなものでなくて、なかなか難しい。

鈴木委員

子供がここにいるが、デジタル化してくるとやっぱり Youtube を見たり流れてくる映像を見がちだと思う。我々は紙ベースで結構本を読んだり、例えばゲームの説明書とかそういう目にする機会があって、また書いたりする機会も多かったと思うので、飛んでるかもしれないが、感想文も例えば漫画でオッケーにするとか、そういう形でこう柔らかくというか、なかなかハードルがグッと上がりきっていると思うので、そういう形もいいのかとふと思った。

指導主事

今、本という話も出たが、読書に関しては、小学生中学生も全国に比べ好きだという子達が平均を上回っているなんて調査があった。また書くということに対して、ICT を最近活用することで、紙に書くことは苦手だけど打つのであればということでも少し改善されている点もあるので、その辺も含めて国語の力が上がっていくように、また工夫して行きたいと思う。

教育長

窪田委員いかがか。

窪田委員

小学校の算数も国語も、特に国語について5ポイント以内はそれほど心配することではないが、今話を聞いてずっと国語が下ということであれば、それなりの手立てをそれぞれの学校や市でやるのはどうかと思った。授業の中でいろいろ先生方が工夫しているのはわかるが、その授業でやったことがテストになった時に結びつかない。勉強したことと、そこにギャップがあるということだ。授業の中で勉強したことがそのまま使えないとか、テストをやった時に上手くそれを発揮できないということなので、そこら辺のどういう所がダメなのかを分析して、その手立てをしないといくら授業ばかり改善しようとしても点数が上がらないと思う。長い目で見るともしかしたら上がるかもしれないが、来年再来年行った時に、その子たちは上

がるかといったら上がらないんじゃないかなと。やっぱりその手立てをしないと。こういう問題が出た時にはこういう書き方もあるんですよ、こういう時はこういうふうに解決してこういうふうに書いていくとこうなんですよと、ずるいかもしいないが、そういうことをちゃんと教えてあげないとできないと思う。そういうことを教えるということは、ある面でその子の学力や力を付けていくことの一つでもあるので、マニュアルではないが、そういうやり方というか書き方や、その学力テストに合うようなものもやっぱり必要なのかなと思う。

今回平均より下回った学校の子達、卒業するまでにもう少し、学力テストはできないと思うが、この子達の学力をつけて卒業させてほしいと思った。

指導主事

最初のほうの委員からのお話で、実は昨日の国語の授業改善というところでもモデル分けという話があり、やはり基本というか手本を示して、そこから書けるようになるというお話もあったので、本当に今の話がこれからの授業改善に繋がらなければいけない。

学校教育課長

後先になるが、全国トップの平均の自治体が、先般山日新聞に掲載されたので、指導主事から説明する。

指導主事

平均正答率の上位ということで8月1日に新聞に載ったものをお話しする。小学校の国語が72で秋田県、石川県、算数が67で東京都、石川県。中学校は、国語が秋田県で74、数学が石川県で56、英語は東京都で52だった。

教育長

中学校の国語は秋田と並んでトップグループ、数学は第三グループ、英語は神奈川、東京、愛知に次いで第三グループぐらいの成績だった。今年六年生で受けた子ども達が必ず三年後、またこれを受けるので、その前にきちんとやっていかないと積み残しがでてしまうというところが課題になってくると思う。これについては読解力ということで、資料を読み解くこともあるので、来年の方向性として新聞を活用した学習NIEがいいと言われるが、それを導入していこうという考えを持っているが、いかがか。

矢野職務代理

結果を聞くと、石川県がすごい。小学校で両方ともトップクラスで、中学校でも数学が一番で、教え方や学校など何か要因があるのか。それと、山梨で言えば、小さい学校の方がたくさん見てもらえるから勉強がすごくできるかなと思っていたが、そうとも限らない。やはり教え方や取り組み方などいろいろあるんだなということが、先生たちもこの結果を見てあれ？と思うことがたくさんあるかと思うので、考え方に反映させていただきたい。

教育長

石川県は昔から上位グループにおり、初めの頃は秋田県、福井県あたりが上位にいた。秋田県の場合は、こういったテストに早くからやって慣れてきた点の一つと、生活習慣で核家族ではなく大家族が多いので、おじいちゃん、おばあちゃんがいる家に帰ると宿題やったかというような声かけがあって、わからん所は持って来いと教えてあげることが一つある。もう一個は、早く寝ないとなまはげ来るぞというような、理屈ではなく有無を言わさずだめだという文化があってということで、三つぐらい分析した覚えがあるが、そんなことが背景にあるようだ。山梨県は最初の時、まったく全国と同じ平均点だったが、それから油断というか、上位の県はさらに伸ばしていき、下位の県がこれはまずいと底上げを図った結果、全国から4ポイント5ポイント下がるような位置になり、それを戻すのに約十年ぐらいかかった。で、やっと全部平均まで戻ったのが令和2年ぐらいだったが、コロナでまたゴタゴタして今回の結果になっている。

それでは、また校長会で説明したり、今頂いたご意見を反映させながら、授業改善を図って努めていきたいと思う。

教育長

次に(2)その他、何かあるか。

事務局

なし。

教育長

以上で議事を終了する。

議事終了

5 承認事項

(1) 市指定史跡「城山城郭遺構」の現状変更について

生涯学習課長 説明

・承認